

# 新潟人

子育て応援仕掛け人・今井進太郎さん(29)

## 母親たちの再就職支援も力点

12歳以下の子を持つ会員は飲食店やスーパーマーケットなどで優待サービスを

受けられる。くろぶ設立から今春で丸1年。会員は新潟、長岡両市を中心に7千世帯を突破し、協賛店も500以上に増えた。

多くの人が日々の子育てに追われる中、どうしたら楽しくできるのか。自分が手掛けている販売促進企画の仕事と結びつくことはいなか。思案の中で生まれたのが「トキっ子くらぶ」だった。「行った店先で楽

しめる仕掛けがある」と思ったのです。

今の仕事を与えてくれたのは06年12月生まれの長男悠太郎くん。以前は小さな子どもと接する機会がなく、子育てと無縁だった。

「この仕事をしていなかったら、子育てに無関心な父親だったかも知れません」設立当初は会員集めや企業回りで多忙を極めた。

「子育て支援を目指すなら、まず私を手伝って」。妻に文句を言われたことも。今は、母親の視点から



79年、長岡市生まれ。東京の大学を卒業後、コンサルティング会社に勤務。04年に長岡市に戻り、06年6月に販売促進企画会社を設立。「トキっ子くらぶ」は07年4月に本格的なサービスを開始した。問い合わせはくらぶ事務局(0258・25・6805)へ。

求められるサービスは何か  
など、仕事のアドバイスをしてくれる貴重な味方だ。

会員数が増えるにつれ、認知度も高まり、企業から問い合わせが来るようになった。

「社長自ら電話で「ぜひやりたい」と参加を決めた企業もあった。育児支援

に企業や地域が前向きになりつつあるとも感じる。

ただ、求めるのは割引といった経済的なメリットだけではない。子連れでもためらわずに飲食店に入れる雰囲気、レジでの「お子さん、いくつ？」といった何げない会話、インターネットを活用した育児の悩み相談など、さまざまな形の支援の輪を広げる考えだ。

「10年、20年とサービスを継続させていきたい」。そのためには、会員も協賛店も、くろぶを支えるスタッフも満足できる状況が必要だと考えている。